

事業評価票（監理団体への支出予算）

7	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン連携事業（生活文化局）	団体名	（公財）東京都歴史文化財団	区分	補助	28年度予算額	10,000 千円	27年度決算額	10,000 千円		
事業内容・団体への支出理由	<ul style="list-style-type: none"> 本財団は、芸術文化団体等と協力し、伝統芸能・文化、演劇、音楽、美術・映像などの幅広い分野におけるフェスティバルの開催、子供や青少年等への体験プログラムの実施、市民の参画による地域の文化創造拠点の形成など、様々な事業を実施している。事業に要する経費の一部を補助することで、本財団が有する事業ノウハウの活用や地域自治体等との連携による円滑かつ効果的な事業展開を図るものである。 										
成果・決算状況・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、日本を代表するクラシックの祭典である「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」と連携し、子供向けのワークショップやコンサート、アウトリーチ、音楽大学生や若手演奏家を中心とした無料公演を実施する等クラシック音楽に気軽に親しめる機会を創出した。 										
見積概要（局評価）	<ul style="list-style-type: none"> 上記成果を基に、今後は芸術文化団体等の自主的な取組に移行し、より効果的な事業展開を図ることとする。 							<input type="checkbox"/> 拡大充実 <input type="checkbox"/> 見直し再構築 <input checked="" type="checkbox"/> 移管終了 <input type="checkbox"/> その他	29年度見積額		- 千円
行政改革推進部評価								<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」音楽祭と連携し、若手演奏家を中心とした無料公演や近隣小学校へのアウトリーチを行うなど音楽の持つ魅力を発信し、一定の役割を果たした。今後は、東京2020大会開催を見据えて、日本・東京の芸術文化の魅力を発信できる事業との連携にシフトするため、本事業を終了することは妥当である。今後は、東京の魅力向上を図るため、より効率的・効果的な事業展開に努められたい。 			
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は無料公演や子供向けワークショップの開催等により、その目的である音楽の魅力を発信し、多くの都民が気軽に音楽に親しめる機会を創出し、一定の役割を果たした。 今後より効果的な事業展開を行う上で既存事業の見直しは必要であることから、本事業の見直しは妥当である。 										
8 恵比寿映像祭（生活文化局）								団体名	（公財）東京都歴史文化財団	区分	補助
事業内容・団体への支出理由	<ul style="list-style-type: none"> 本財団は、芸術文化団体やアートNPO等と協力し、伝統芸能・文化、演劇、音楽、美術・映像などの幅広い分野におけるフェスティバルの開催、子供や青少年等への体験プログラムの実施、市民の参画による地域の文化創造拠点の形成など、様々な事業を実施している。事業に要する経費の一部を補助することで、本財団が有する事業ノウハウの活用や地域自治体等との連携による円滑かつ効果的な事業展開を図るものである。 										
成果・決算状況・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 映像分野における創造活動の活性化と映像表現ジャンルを横断した芸術性の高い作品を紹介することを目的として、恵比寿エリアで展示、上映、ライブ、トーク・セッション等多彩なプログラムによる映像のフェスティバルを開催する。 										
見積概要（局評価）	<ul style="list-style-type: none"> 第23回冬季オリンピック平昌大会と同時期開催を機に、発信力をさらに高めるプログラムを実施する。 							<input checked="" type="checkbox"/> 拡大充実 <input type="checkbox"/> 見直し再構築 <input type="checkbox"/> 移管終了 <input type="checkbox"/> その他	29年度見積額		104,000 千円
行政改革推進部評価								<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、年に1度、東京都写真美術館全館を使って、展示、上映、ライブ、イベント、トーク・セッション等を複合的に行うアートと映像の祭典である。今後、国際映像祭へと発展させる上で、海外各都市との都市間交流や地域団体や芸術文化団体等と連携強化を図り、都における文化政策と連動し事業を展開するため、実施主体として、都の文化施策の主導的役割を担っている本財団が本事業を実施することは妥当である。 			
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 同時期に開催される冬期オリンピック大会を契機とした展開も行っていくことは、東京の文化的魅力を発信する上でも効果的であることから、見積額のとおり計上する。 										